

決めるということ

校長 宅島 健司

入学式式辞の中で話した「あれをしたい、こうなりたいと決めた時、それはもう叶い始めている。決めなければ絶対に実現することはない。決めた時点で、既に私たちは目指す場所に歩き始めている」という言葉は、作家の角田光代さんがエッセーに書いた言葉です。

“ある年の4月、ある学校の3年理系クラスにいた生徒が、担任との面談の中で自分は「どうしても九州大学の経済学部へ行きたい。」と言い出した。いわゆる文転である。

理系クラスの教育課程は決められており、文系学部を受験するのは不利である。数学は数Ⅲまで履修、理科2科目物理・化学の履修など。当時九大の経済学部ならば、理科はセンター試験で1科目だけでよく、2次試験の数学も数ⅡBまでの受験であった。その生徒は、いわゆる理系頭の生徒で、2年次までの対外実力テストの数学ⅡB及び物理・化学の全国偏差値はどれも65ほどであった。理系の九大受験ならば、合格可能性が非常に高い成績である。さらに、文転を認めるには大きな障害があった。理系科目の成績に比して、英語は全国偏差値50に届かないような状況であった。難関大学文系合格のカギは英語であり、とても太刀打ちできる成績ではなかった。しかし、本人の意志が固く、学年としては、数Ⅲ、理系2科目手を抜かずに頑張るということを約束させ、文転を支援することとなった。

それから彼の英語克服の1年間が始まった。1年間で偏差値を10上げるというのは、並大抵のことではない。3年次の模試になると、浪人生が受験するようになることに加え、2年次まで対外実力テストを受験している人でも、大学受験を本気で目指さない場合には受験しなくなるため、通常の努力では模試の偏差値が下がるのが当たり前である。

彼は、どの教科も授業に真剣に向かい、数学・理科2科目の成績を落とすこともなく、英語は殊更に頑張った。学習合宿でもほぼ英語に時間を費やしていた。

その高校は、先輩方が2次試験引率の手伝いをするのが慣習となっていたが、受験の際に先輩たちは口々に「あの生徒は違う、何者ですか」「何学部受けるんですか」と尋ねた。どうしても合格したいという覚悟が、彼の行動には表れていた。片時も時間を無駄にせず、英語攻略に立ち向かっていた。見ず知らずの先輩方を驚かすほどの集中力をもって。彼はもちろん九州大学経済学部の合格を勝ち取った。”

心で何かを決めるというのはこういうことではないかと思います。人の能力にそれほど大きな差があるとは思いません。しかし、本気になるというその覚悟が本物であれば、その目標は達成されるのではないかと思います。できることを他人が驚くほど徹底してやるのが目標達成の唯一の道であると考えます。だから決めてください。覚悟してください。西高生！ 目標を決めて たくましく未来を切り拓け！

《4月・5月の行事予定》

23	(火)	新体力テスト・身体測定
24	(水)	各種委員任命式・いじめ根絶集会(1校時)、内科検診(2年1～3組)
25	(木)	歓迎遠足(予備日なし)
26	(金)	火曜日の授業 前期中間考査A時間割発表
27	(土)	対外記述模試(3年)
11	(土)	前期中間考査A(全学年・3年は10日から)、育友会総会、学年育友会、学級懇談会

1学年より

Step forward ～56回生の挑戦～

56回生の皆さん、入学おめでとうございます。散った桜の花を惜しみながらというのがここ最近の入学式の様子でしたが、今年が一番良い状態のもとで239名の入学を祝うことができました。3日間の新入生研修も終え西高生としての一步を踏み出した皆さん、さあチーム56回生の始動です。自己実現を目指すとともに、仲間たちへの気配りや感謝の心、「For the team」の精神を持った強くてたくましい集団をみんなで作っていきましょう。

今年の1年生のテーマはStep forward(56回生の挑戦)です。いろんな場面で自分を成長させるための一步を踏み出そう、自分の殻を破る小さな挑戦を続けていこうということです。「千里の行も足下に始まる」、大きな志を抱き、その実現を目指して頑張っていきましょう。

【第1学年主任 戸塚 邦彦】



2学年より

『さらなる高みを目指して』

いよいよ55回生が佐世保西高校の中堅学年となります。これからの一年間が皆さんの将来を大きく左右する重要な一年間になります。この一年間、将来への明確な目標を設定し、その目標に向けて懸命に努力を重ねることによって、来年、はれて受験生になることができるのです。来年になってからでは「時間が足りない」状態になってしまいます。バランスの良い基礎学力、様々な経験を積み重ねることこそが受験を突破するための必要条件なのです。

そこで、『さらなる高みを目指して』を学年スローガンとします。今の自分に満足することなく、気高き志、飽くなき探究心、チャレンジ精神、相手を思いやる心、コミュニケーション能力、自己肯定感、そして学力を向上させてほしいと願って、このスローガンに思いをこめました。そして、2学年の目標である、佐世保西高校の中堅学年としてのリーダーの自覚を持ち、その責任を全うできる心身ともに健康な生徒となるべく、1年間頑張っていきましょう。

【第2学年主任 三好 啓介】

3学年より

今頑張らないで、いつ頑張るんだ！

春休みのコモンホールでは毎日、50名ほどの新3年生(54回生)が学習に取り組んでいました。いよいよ、勝負の1年が始まったことを実感させられました。

早いもので、54回生が西高に入学して2年の月日が経ちました。これまでは、学力についてはもちろんですが、西高の一員としての自覚を持つことであったり、学校生活を送る上でのマナーをしっかり身につけることであったりと、54回生が良き方向に進むための取り組みを様々な角度から行ってきました。

そしてこれからの1年間はその取り組みが試される集大成の1年となります。その場その場で物事の善し悪しを考えることのできる冷静な判断力のもと、場にふさわしい言動をし、後輩をグイグイ引っ張れる頼りがいのある先輩として、生活していけるように願っています。

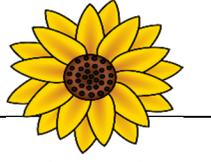
最後に、今年度は言うまでもなく、受験生としての取り組みが中心となります。第1希望を諦めることなく、自らの希望を叶えるために日々の努力を惜しまず、54回生全員で切磋琢磨する1年にしてほしいと思います。

【第3学年主任 江口 友広】



新転任の先生方より

～これからよろしくお祈いします！～



<p>山口麻利子先生 前任校では、学校のさまざまな事からについて先生方に尋ねられることが多かったのに、一気に教えてください！という立場が変わってしまいました。この3週間、いろんな方に、いろんな場所で頭を下げています。けれど新鮮です。いくつになっても、奢らず、威張らず…、わからないことは教えてください、失敗したらごめんなさい！これ、大事だと思っています。謙虚に、健気に頑張ります！</p>	<p>佐藤辰生先生 鹿町工業高校からきました佐藤です。専門教科は公民の「政治経済」で、本校では公民の「現代社会」、「倫理」を担当します。部活動は男子バドミントンの顧問となりました。バドミントンは十数年ぶりの顧問で、ルールも大きく異なっており、教科も部活も生徒の皆さんとともに学びたいと思います。よろしくお祈いします。</p>	<p>増田千鶴先生 しばらくぶりに普通科進学校に戻ってきました。前任の諫早商業では、「就職」という人生の岐路で、本気で、がむしゃらに人生や自分自身に向き合う生徒に出会いました。何物にも代え難い経験だったと思います。その経験を生かして佐世保西高校の生徒の皆さんが「生きる力」を身につけられるよう励みたいと思います。</p>
<p>西村雅人先生 2年生と3年生の理科を受け持つことになりました西村です。現在の校舎が完成した頃に初任者として3年間お世話になり、それ以来の西高です。久しぶりの西高は何が変わって何が変わっていないのかとても楽しみです。生徒たちの心に残る3年間と進路実現のお手伝いができるよう頑張ります。</p>	<p>吉田博利先生 松浦高校からまいりました。教科は地歴公民（世界史）、部活動は放送部、3年3組の担任です。授業・部活動・クラス活動を通して、西高生のみなさんが「何のために生き、何を為すか」を探し、納得のいく人生、喜びのある人生を送るためのお手伝いをしたいと思います。一緒に高校生活をつくっていきましょう。</p>	<p>川本聡子先生 五島海陽高校からまいりました。この学校に来た初日に、部活動紹介の進行のスムーズさと、部活動生の元気のよさに驚きました。廊下でもたくさんの方が挨拶してくれて、いい学校だなあと思っています。2年間中国に行っていましたので慣れないこともありますが、経験を生かせるようがんばります。よろしくお祈いします。</p>
<p>萩原広太先生 五島列島の真ん中に位置する奈留島。島内に1校、小中高一貫教育校の奈留高校から赴任してきました。・・・とは、言ったものの、出身地は、ここ、佐世保。高校卒業以来、縁あって赴任してきました。1年3組の担任です。活気ある授業と、明るく元気に前向きな生徒の育成を目指して日々努力したいと思います。宜しくお祈い致します。</p>	<p>小佐々慎也先生 島原高校から赴任してきました。数学科の小佐々です。高校を卒業してから16年ぶりに母校に帰って帰ることができて、とても嬉しく思っています。教科指導はもちろん、自分が所属していた男子バレー部の指導もがんばります。よろしくお祈いします。</p>	<p>林田勇一郎先生 上対馬高校よりまいりました、音楽の林田です。出身は長崎市ですがこれまで離島での生活が長かったので、佐世保での生活はとても新鮮に感じます。これから佐世保西高校で授業に部活に行事にとしっかり頑張っていこうと思います。よろしくお祈いします。</p>
<p>渡邊はるな先生 長崎北高校よりまいりました、渡邊です。地理が専門ですが、今年はいろいろな授業を担当します。生徒のみなさんに、世界のおもしろさを伝えていきたいと思います。島原鉄道と一緒に育ったので、学校の真横を走るMRに親近感を感じながら過ごしています。よろしくお祈いします。</p>	<p>磯口勇平先生 松浦高校よりまいりました。国語科の磯口です。生徒のみなさんの元気いっぱいな様子と人数の多さにはとても圧倒されていますが、目標に向かって努力しているみなさんのお手伝いを少しでもできればと思っています。よろしくお祈いします。</p>	<p>辻干城先生 20年振りに帰ってきました。生徒も職員も活気があり、学校に勢いがあると感じました。私もしっかり頑張りたいと思います。宜しくお祈いします。</p>
<p>近藤嗣敏先生 英語科3年担当の近藤です。教師歴四十数年の老体ですが、生徒達の厳しくかつ充実した高校生活の一助となれるよう頑張ります。学習の基本3Cは、Concentration（集中）、Continuation（継続）、Cooperation（協調）、生活の基本3Cは、Courtesy（礼儀）、Consideration（配慮）、Cultivation（修練）だと考えます。</p>	<p>末岡緑先生 “今は佐世保西高が私の誇り 明日は私が佐世保西高の誇り” そんな大きな志を胸に秘めた生徒の皆さんとの出会いを楽しみに、1年間過ごしていきたいと思っています。よろしくお祈いします。</p>	<p>福嶋千波先生 佐世保中央高校から赴任いたしました。教科は書道、部活動も書道部です。1年6組の担任をします。佐世保西高校は、元気いっぱいな生徒が多く、これからみなさんと過ごせることが楽しみです。佐世保北高校との兼務となりますので週3日勤務ですが、密度の濃い時間を過ごせるようがんばります。よろしくお祈いします。</p>
<p>中倉いづみ先生 前年度は松浦高校と川棚高校で非常勤講師をしていました。教職2年目で母校に帰って帰ることができ、とてもうれしいです。至らない点がたくさんあるとは思いますが、教科指導や部活動の指導に一生懸命取り組んでいきます！よろしくお祈いします！</p>	<p>吉永大起先生 3月に佐賀大学を卒業し、佐世保西高校に来ました。実際に、生徒を前にして授業を行うことがとても楽しく感じています。佐世保西高校の生徒それぞれが、個性を發揮して輝ける学校になるように尽力していきます。よろしくお祈いします。</p>	<p>岡舞衣先生 西海市立西海小学校から赴任してまいりました。初めての県立高校での事務は不安でいっぱいですが早く慣れて、佐世保西高校がよりよい学校になるように貢献していきたいと思っています。よろしくお祈いします。</p>

